

iFreeActive メディカルデバイス

運用報告書(全体版) 第4期

(決算日 2022年10月18日)
(作成対象期間 2021年10月19日～2022年10月18日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式		
信託期間	2018年10月19日～2028年10月18日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主 要 投資対象	ベ ビ ー フ ァ ン ド	メディカルデバイス・マザーファンドの受益証券	
	メディカルデバイス・マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（D R（預託証券）を含みます。）	
組入制限	ベ ビ ー フ ァ ン ド の マザーファンド組入上限比率		無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率		
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界の「医療関連機器、技術等」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

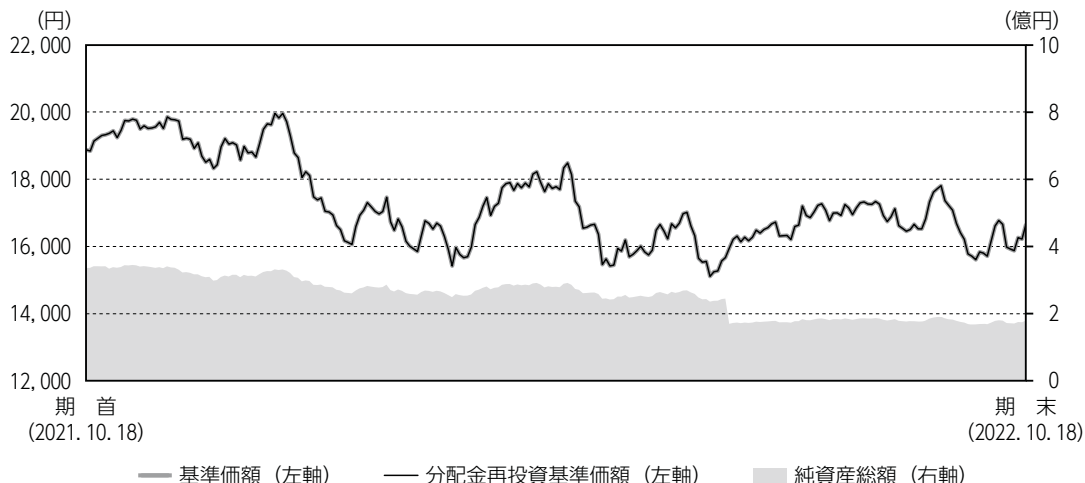
決 算 期	基 準 価 額			株 式 組 入 率 比	株 式 先 物 率 比	純 資 産 額 総
	(分 配 落)	税 込 配 金	期 騰 落 中 率			
	円	円	%	%	%	百万円
1 期末 (2019年10月18日)	11,001	0	10.0	99.0	—	131
2 期末 (2020年10月19日)	14,546	0	32.2	99.6	—	203
3 期末 (2021年10月18日)	18,877	0	29.8	99.3	—	335
4 期末 (2022年10月18日)	16,641	0	△ 11.8	95.5	—	179

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注 2) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注 3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。
(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首：18,877円

期 末：16,641円（分配金 0 円）

騰落率：△11.8%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

日本を含む世界の「医療関連機器、技術等」関連株式に投資した結果、日米の金融政策の違いから金利差が拡大し、米ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となりましたが、ロシアによるウクライナ侵攻で地政学リスクが顕在化したことや、予想以上のインフレ率の上昇で欧米の金利が上昇したことなどを背景に、世界株式市況が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		株 式 組 入 率	株 式 先 物 率
		騰 落 率		
(期 首) 2021年10月18日	円	%	%	%
	18, 877	—	99. 3	—
10月末	19, 460	3. 1	99. 2	—
11月末	19, 086	1. 1	99. 4	—
12月末	19, 966	5. 8	99. 5	—
2022年 1 月末	16, 595	△ 12. 1	98. 7	—
2 月末	16, 762	△ 11. 2	99. 2	—
3 月末	17, 903	△ 5. 2	99. 1	—
4 月末	16, 574	△ 12. 2	96. 7	—
5 月末	16, 655	△ 11. 8	98. 2	—
6 月末	16, 275	△ 13. 8	98. 4	—
7 月末	17, 270	△ 8. 5	98. 7	—
8 月末	16, 454	△ 12. 8	97. 5	—
9 月末	15, 802	△ 16. 3	93. 7	—
(期 末) 2022年10月18日	16, 641	△ 11. 8	95. 5	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021. 10. 19 ~ 2022. 10. 18)

■世界株式市況

世界株式市況は、2021年末にかけて上昇しましたが、その後は下落しました。

世界株式市況は、当作成期首より、良好な企業決算の発表などを受けて上昇しました。その後も、インフレ率の上昇加速を受けた早期利上げ観測や新型コロナウイルスの新変異株への警戒感などで下落する局面はあったものの、多くの良好な経済指標が支えとなり、2021年末にかけて高値圏で推移しました。2022年入り後は、F R B（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で地政学リスクが顕在化したことを受け、株価は3月半ばにかけて下落しましたが、F R Bの利上げ決定後はいったん反発しました。4月から6月半ばにかけては、インフレ率の予想以上の上昇を受けてF R Bが利上げを加速するとの思惑が強まったことなどから、下落しました。6月半ばにF R Bが利上げ幅拡大を決定した後は、悪材料出尽くし観測などから上昇に転じ、またインフレ率がピークアウトするとの期待感などもあり、8月中旬にかけて上昇が続きしました。その後は、F R B議長が景気を犠牲にしてでもインフレを抑制する姿勢を強調したことや、予想以上のインフレ率の上昇で欧米の金利が上昇したことなどが嫌気され、当作成期末にかけて株価は下落しました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首よりおおむねレンジ内での推移が続いた後、2022年3月にF R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図るなど、日米の金融政策の相違がより明確となって、4月末にかけて円安米ドル高が大きく進行しました。その後は、米国景気への懸念などからリスク回避姿勢が強まり米ドルは下落しましたが、6月には米国で大幅な利上げが行われたことなどから、米ドルは再度上昇しました。7月後半には、米国金利が低下に転じたため日米金利差の縮小が意識されて円が買い戻されたことで、円高米ドル安となりました。8月は、米国金利の上昇により日米金利差が再度拡大したことなどから、円安米ドル高が進行しました。9月に入ると、F R Bが大幅な金融引き締めを決定したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで、急速に円安米ドル高が進行しました。これを受け、日本政府・日銀は円買い介入を実施したものの影響は限定的なものにとどまり、投資対象通貨は円安基調のまま当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「メディカルデバイス・マザーファンド」の受益証券を通じて、日本を含む世界の「医療関連機器、技術等」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

■メディカルデバイス・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

ポートフォリオについて

(2021. 10. 19 ~ 2022. 10. 18)

■当ファンド

「メディカルデバイス・マザーファンド」の受益証券を通じて、日本を含む世界の「医療関連機器、技術等」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざしました。

■メディカルデバイス・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、THERMO FISHER SCIENTIFIC INC（米国）、BOSTON SCIENTIFIC CORP（米国）、DANAHER CORP（米国）などを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を行いませんでした。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		当期
		2021年10月19日 ～2022年10月18日
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	6,640

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

「メディカルデバイス・マザーファンド」の受益証券を通じて、日本を含む世界の「医療関連機器、技術等」関連株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

メディカルデバイス・マザーファンド

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

1 万口当りの費用の明細

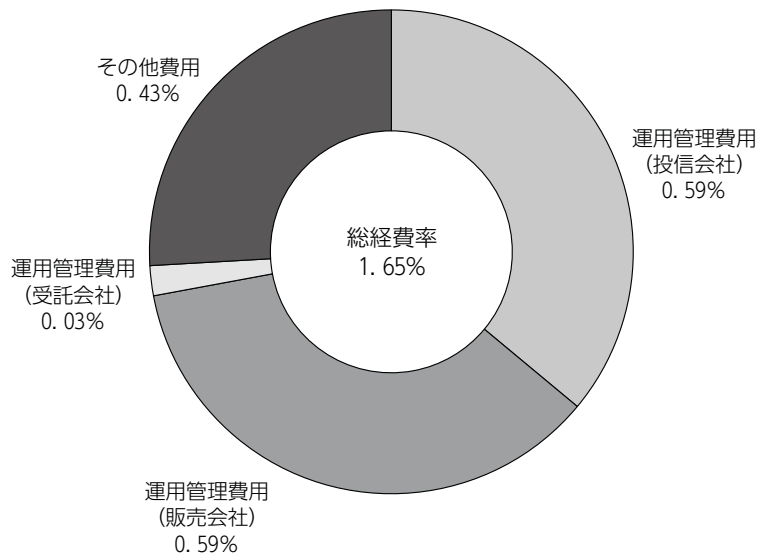
項 目	当 期 (2021. 10. 19～2022. 10. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	211円	1. 221%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は17, 270円です。
(投 信 会 社)	(103)	(0. 594)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(103)	(0. 594)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(6)	(0. 033)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	32	0. 187	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(32)	(0. 187)	
有価証券取引税	2	0. 014	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(2)	(0. 014)	
そ の 他 費 用	74	0. 427	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(72)	(0. 420)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0. 005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	319	1. 850	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第 3 位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.65%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2021年10月19日から2022年10月18日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
メディカルデバイス・マザーファンド	20,253	37,400	89,053	156,400

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年10月19日から2022年10月18日まで)

項 目	当 期
	メディカルデバイス・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	644,667千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	249,653千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.58

(注 1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2021年10月19日から2022年10月18日まで)

決 算 期	当 期					
区 分	買付額等 A	う ち 利 害 関係人との 取引状況B		売付額等 C	う ち 利 害 関係人との 取引状況D	
		B / A			D / C	
株式	百万円 259	百万円 2	% 1.0	百万円 384	百万円 2	% 0.7
為替予約	155	—	—	276	—	—
コール・ローン	219	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合100.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2021年10月19日から2022年10月18日まで)

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	467千円
うち利害関係人への支払額 (B)	7千円
(B) / (A)	1.6%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保 有 額	当作成期中 設 定 額	当作成期中 解 約 額	当作成期末 保 有 額	取 引 の 理 由
百万円 100	百万円 —	百万円 50	百万円 50	当初設定時における取得とその処分

(注 1) 金額は元本ベース。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
メディカルデバイス・マザーファンド	171,008	102,208	178,680

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年10月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
メディカルデバイス・マザーファンド	178, 680	99. 1
コール・ローン等、その他	1, 646	0. 9
投資信託財産総額	180, 326	100. 0

- (注 1) 評価額の単位未満は切捨て。
- (注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
なお、10月18日における邦貨換算レートは、1 アメリカ・ドル=148. 88 円、1 オーストラリア・ドル=93. 78円、1 イギリス・ポンド=169. 05円、1 スイス・フラン=149. 57円、1 スウェーデン・クローネ=13. 36円、1 オフショア・人民元=20. 674円、1 ユーロ=146. 47円です。
- (注 3) メディカルデバイス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (164, 312千円) の投資信託財産総額 (178, 682千円) に対する比率は、92. 0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年10月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	180, 326, 689円
コール・ローン等	1, 646, 632
メディカルデバイス・マザーファンド (評価額)	178, 680, 057
(B) 負債	1, 306, 427
未払解約金	30, 125
未払信託報酬	1, 270, 682
その他未払費用	5, 620
(C) 純資産総額 (A－B)	179, 020, 262
元本	107, 579, 134
次期繰越損益金	71, 441, 128
(D) 受益権総口数	107, 579, 134口
1万口当り基準価額 (C／D)	16, 641円

- * 期首における元本額は177, 897, 896円、当作成期間中における追加設定元本額は38, 775, 709円、同解約元本額は109, 094, 471円です。
- * 当期末の計算口数当りの純資産額は16, 641円です。

■損益の状況

当期 自2021年10月19日 至2022年10月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 281円
受取利息	108
支払利息	△ 389
(B) 有価証券売買損益	△ 18, 275, 324
売買益	19, 312, 108
売買損	△ 37, 587, 432
(C) 信託報酬等	△ 3, 102, 168
(D) 当期損益金 (A＋B＋C)	△ 21, 377, 773
(E) 前期繰越損益金	34, 282, 300
(F) 追加信託差損益金	58, 536, 601
(配当等相当額)	(33, 096, 474)
(売買損益相当額)	(25, 440, 127)
(G) 合計 (D＋E＋F)	71, 441, 128
次期繰越損益金 (G)	71, 441, 128
追加信託差損益金	58, 536, 601
(配当等相当額)	(33, 096, 474)
(売買損益相当額)	(25, 440, 127)
分配準備積立金	34, 282, 516
繰越損益金	△ 21, 377, 989

- (注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	37, 159, 109
(d) 分配準備積立金	34, 282, 516
(e) 当期分配対象額 (a＋b＋c＋d)	71, 441, 625
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e－f)	71, 441, 625
(h) 受益権総口数	107, 579, 134口

メディカルデバイス・マザーファンド

運用報告書 第4期 (決算日 2022年10月18日)

(作成対象期間 2021年10月19日～2022年10月18日)

メディカルデバイス・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

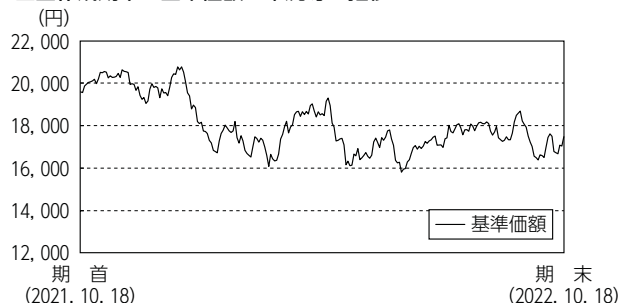
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式（D R（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		株式組入 比 率	株式先物 比 率
	円	騰 落 率 %		
(期首) 2021年10月18日	19,599	—	99.5	—
10月末	20,212	3.1	99.5	—
11月末	19,844	1.3	99.7	—
12月末	20,781	6.0	99.7	—
2022年 1月末	17,282	△ 11.8	98.9	—
2月末	17,476	△ 10.8	99.4	—
3月末	18,684	△ 4.7	99.3	—
4月末	17,310	△ 11.7	97.0	—
5月末	17,414	△ 11.1	98.4	—
6月末	17,031	△ 13.1	98.6	—
7月末	18,096	△ 7.7	98.9	—
8月末	17,258	△ 11.9	97.7	—
9月末	16,588	△ 15.4	93.9	—
(期末) 2022年10月18日	17,482	△ 10.8	95.6	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：19,599円 期末：17,482円 騰落率：△10.8%

【基準価額の主な変動要因】

日本を含む世界の「医療関連機器、技術等」関連株式に投資した結果、日米の金融政策の違いから金利差が拡大し、米ドルが対円で上昇（円安）したことがプラス要因となりましたが、ロシアによるウクライナ侵攻で地政学リスクが顕在化したことや、予想以上のインフレ率の上昇で欧米の金利が上昇したことなどを背景に、世界株式市況が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○世界株式市況

世界株式市況は、2021年末にかけて上昇しましたが、その後は下落しました。

世界株式市況は、当作成期首より、良好な企業決算の発表などを受けて上昇しました。その後も、インフレ率の上昇加速を受けた早期利上げ観測や新型コロナウイルスの新変異株への警戒感などで下落する局面はあったものの、多くの良好な経済指標が支えとなり、2021年末にかけて高値圏で推移しました。2022年入り後は、F R B（米連邦準備制度理事会）による金融引き締め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で地政学リスクが顕在化したことを受け、株価は3月半ばにかけて下落しましたが、F R Bの利上げ決定後はいったん反発しました。4月から6月半ばにかけては、インフレ率の予想以上の上昇を受けてF R Bが利上げを加速するとの思惑が強まったことなどから、下落しました。6月半ばにF R Bが利上げ幅拡大を決定した後は、悪材料出尽くし観測などから上昇に転じ、またインフレ率がピークアウトするとの期待感などもあり、8月中旬にかけて上昇が続きしました。その後は、F R B議長が景気を犠牲にしてもインフレを抑制する姿勢を強調したことや、予想以上のインフレ率の上昇で欧米の金利が上昇したことなどが嫌気され、当作成期末にかけて株価は下落しました。

○為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首よりおおむねレンジ内での推移が続いた後、2022年3月にF R B（米連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図るなど、日米の金融政策の相違がより明確となって、4月末にかけて円安米ドル高が大きく進行しました。その後は、米国景気への懸念などからリスク回避姿勢が強まり米ドルは下落しましたが、6月には米国で大幅な利上げが行われたことなどから、米ドルは再度上昇しました。7月後半には、米国金利が低下に転じたため日米金利差の縮小が意識されて円が買い戻されたことで、円高米ドル安となりました。8月は、米国金利の上昇により日米金利差が再度拡大したことなどから、円安米ドル高が進行しました。9月に入ると、F R Bが大幅な金融引き締めを決定したのに対し、日銀は金融緩和政策の維持を決定したことで、急速に円安米ドル高が進行しました。これを受け、日本政府・日銀は円買い介入を実施したものの影響は限定的なものにとどまり、投資対象通貨は円安基調のまま当作成期末を迎えました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

◆ポートフォリオについて

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると考えられる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築しました。個別銘柄では、THERMO FISHER SCIENTIFIC INC（米国）、BOSTON SCIENTIFIC CORP（米国）、DANAHER CORP（米国）などを組入上位としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価値は目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

メディカルデバイス・マザーファンド

《今後の運用方針》

日本を含む世界の株式の中から「医療関連機器、技術等」に関連すると思われる企業を選定し、各銘柄のテーマ関連事業の売上高やテーマ関連事業売上高の総売上高に占める比率の見通し、テーマ関連銘柄としての代表性などを考慮して、ポートフォリオを構築します。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	34円 (34)
有価証券取引税 (株式)	3 (3)
その他費用 (保管費用) (その他)	76 (76) (0)
合 計	113

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄

株 式

(2021年10月19日から2022年10月18日まで)

当 期				期 付			
買		付		売		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
BOSTON SCIENTIFIC CORP (アメリカ)	千株 5.015	千円 26,221	円 5,228	WATERS CORP (アメリカ)	千株 0.711	千円 28,430	円 39,987
SIEMENS HEALTHINEERS AG (ドイツ)	2.7	21,333	7,901	BOSTON SCIENTIFIC CORP (アメリカ)	4.195	20,508	4,888
オリンパス	7.3	19,517	2,673	テルモ	4.3	19,845	4,615
GETINGE AB-B SHS (スウェーデン)	3.675	18,173	4,945	SONOVA HOLDING AG-REG (スイス)	0.454	18,761	41,324
WATERS CORP (アメリカ)	0.415	17,556	42,303	SHENZHEN MINDRAY BIO-MEDIC-A (中国)	2.9	17,920	6,179
STERIS PLC (アイルランド)	0.62	16,578	26,740	INTUITIVE SURGICAL INC (アメリカ)	0.575	17,584	30,581
MASIMO CORP (アメリカ)	0.475	16,169	34,041	STERIS PLC (アイルランド)	0.62	16,808	27,110
BECTON DICKINSON AND CO (アメリカ)	0.473	15,126	31,979	IDEXX LABORATORIES INC (アメリカ)	0.281	15,606	55,540
PERKINELMER INC (アメリカ)	0.62	12,983	20,940	EDWARDS LIFESCIENCES CORP (アメリカ)	1.215	15,459	12,723
テルモ	2.9	11,294	3,894	SARTORIUS STEDIM BIOTECH (フランス)	0.266	15,294	57,499

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

株 式

(2021年10月19日から2022年10月18日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内		千株 10.2 ()	千円 30,812 ()	千株 9.4	千円 30,758
	アメリカ	百株 115.18 (0.66)	千アメリカ・ドル 1,461 ()	百株 136.29	千アメリカ・ドル 2,204
外 国	スイス	百株 0.18 ()	千スイス・フラン 5 ()	百株 4.54	千スイス・フラン 137
	スウェーデン	百株 36.75 ()	千スウェーデン・クローネ 1,454 ()	百株 36.75	千スウェーデン・クローネ 1,067
外 国	中国	百株 7 ()	千オフショア・人民元 233 ()	百株 29	千オフショア・人民元 952
	ユーロ (フランス)	百株 0.75 ()	千ユーロ 29 ()	百株 2.66	千ユーロ 117
外 国	ユーロ (ドイツ)	百株 27 ()	千ユーロ 161 ()	百株 19.25	千ユーロ 94
	ユーロ (ユーロ通貨計)	百株 27.75 ()	千ユーロ 190 ()	百株 21.91	千ユーロ 211

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)国内株式

銘 柄		期 首	当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評価額	
精密機器 (100.0%)		千株	千株	千円	
テルモ		2.9	1.5	6,487	
オリンパス		—	2.2	6,762	
合 計	株 数、金 額	千株	千株	千円	
	銘柄数 <比率>	2.9	3.7	13,250	
		1銘柄	2銘柄	<7.4%>	

(注 1) 銘柄欄の()内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
(注 2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国株式

銘 柄		期 首	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
		百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)						
ABBOTT LABORATORIES		10. 7	7. 6	78	11, 713	ヘルスケア
DANAHER CORP		7. 5	4. 2	109	16, 253	ヘルスケア
BECTON DICKINSON AND CO		—	2. 35	53	8, 012	ヘルスケア
BIO-RAD LABORATORIES-A		1. 98	0. 95	38	5, 715	ヘルスケア
DEXCOM INC		2. 54	—	—	—	ヘルスケア
ALIGN TECHNOLOGY INC		2. 21	—	—	—	ヘルスケア
EDWARDS LIFESCIENCES CORP		12. 45	4. 2	35	5, 345	ヘルスケア
AGILENT TECHNOLOGIES INC		13. 05	7. 6	99	14, 772	ヘルスケア
INSULET CORP		4. 05	2. 95	66	9, 845	ヘルスケア
HOLOGIC INC		—	5. 5	35	5, 268	ヘルスケア
QIAGEN N. V.		—	9	40	5, 980	ヘルスケア
METTLER-TOLEDO INTERNATIONAL		1. 19	0. 69	80	12, 051	ヘルスケア
STRYKER CORP		3. 07	—	—	—	ヘルスケア
RESMED INC		—	2. 25	48	7, 202	ヘルスケア
PERKINELMER INC		—	1. 65	20	3, 110	ヘルスケア
WATERS CORP		4. 44	1. 48	41	6, 160	ヘルスケア
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC		3. 05	2. 2	113	16, 941	ヘルスケア
INTUITIVE SURGICAL INC		5. 48	—	—	—	ヘルスケア
MEDTRONIC PLC		7. 15	—	—	—	ヘルスケア
IDEXX LABORATORIES INC		2. 41	—	—	—	ヘルスケア
BOSTON SCIENTIFIC CORP		19	27. 2	111	16, 546	ヘルスケア
アメリカ・ドル	株数、金額	100. 27	79. 82	973	144, 919	
通 貨 計	銘柄数 <比率>	16銘柄	15銘柄		<81. 1%>	

銘 柄		期 首	当 期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額	
				外貨建金額 邦貨換算金額	
(スイス)		百株	百株	千スイス・フラン 千円	
SONOVA HOLDING AG-REG		4.36	—	—	ヘルスケア
スイス・フラン		株数、金額	4.36	—	—
通 貨 計		銘柄数<比率>	1銘柄	—	<—>
(中国)		百株	百株	千人民元・人民 千円	
SHENZHEN MINDRAY BIO-MEDIC-A		30	8	264	ヘルスケア
オジョア・人医		株数、金額	30	8	264
通 貨 計		銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	<3.1%>
ユーロ(フランス)		百株	百株	千ユーロ 千円	
SARTORIUS STEDIM BIOTECH		2.36	0.45	15	ヘルスケア
国 小 計		株数、金額	2.36	0.45	15
		銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	<1.3%>
ユーロ(ドイツ)		百株	百株	千ユーロ 千円	
SIEMENS HEALTHINEERS AG		—	7.75	34	ヘルスケア
国 小 計		株数、金額	—	7.75	34
		銘柄数<比率>	—	1銘柄	<2.8%>
ユ ー ロ		株数、金額	2.36	8.2	49
通 貨 計		銘柄数<比率>	1銘柄	2銘柄	<4.1%>
ファ ン ド		株数、金額	136.99	96.02	—
合 計		銘柄数<比率>	19銘柄	18銘柄	<88.2%>

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) < > 内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注 3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年10月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	170,917	95.7
コール・ローン等、その他	7,764	4.3
投資信託財産総額	178,682	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、10月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝148.88円、1オーストラリア・ドル＝93.78円、1イギリス・ポンド＝169.05円、1スイス・フラン＝149.57円、1スウェーデン・クローネ＝13.36円、1オフショア・人民元＝20.674円、1ユーロ＝146.47円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（164,312千円）の投資信託財産総額（178,682千円）に対する比率は、92.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年10月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	178,682,920円
コール・ローン等	7,644,948
株式（評価額）	170,917,981
未収配当金	119,991
(B) 負債	—
(C) 純資産総額（A－B）	178,682,920
元本	102,208,018
次期繰越損益金	76,474,902
(D) 受益権総口数	102,208,018口
1万口当り基準価額（C／D）	17,482円

* 期首における元本額は171,008,384円、当作成期間中における追加設定元本額は20,253,353円、同解約元本額は89,053,719円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：iFreeActive メディカルデバイス 102,208,018円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は17,482円です。

■損益の状況

当期 自2021年10月19日 至2022年10月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,284,222円
受取配当金	1,261,886
受取利息	18,623
その他収益金	3,849
支払利息	△ 136
(B) 有価証券売買損益	△ 37,704,413
売買益	71,018,683
売買損	△ 108,723,096
(C) その他費用	△ 1,052,913
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 37,473,104
(E) 前期繰越損益金	164,147,640
(F) 解約差損益金	△ 67,346,281
(G) 追加信託差損益金	17,146,647
(H) 合計（D＋E＋F＋G）	76,474,902
次期繰越損益金（H）	76,474,902

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。